

日本物理学会ダイバーシティ推進委員会活動報告

日本物理学会

(齊藤 準・帯広畜産大学・jsaito@obihiro.ac.jp

角野 秀一・東京都立大学・kakuno@phys.se.tmu.ac.jp

小林 夏野・北海道大学・kayakobayashi@es.hokudai.ac.jp

成木 恵・京都大学・m.naruki@scphys.kyoto-u.ac.jp

馬場 彩・東京大学・bamba@phys.s.u-tokyo.ac.jp)

Recent Activities of Diversity, Equity, & Inclusion Committee in the Physical Society of Japan

The Physical Society of Japan

(Jun SAITO, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, jsaito@obihiro.ac.jp

Hidekazu KAKUNO, Tokyo Metropolitan University, kakuno@phys.se.tmu.ac.jp

Kaya KOBAYASHI, Hokkaido University, kayakobayashi@es.hokudai.ac.jp

Megumi NARUKI, Kyoto University, m.naruki@scphys.kyoto-u.ac.jp

Aya BAMBA, University of Tokyo, bamba@phys.s.u-tokyo.ac.jp)

Abstract: We report on the recent activities of the Diversity, Equity, and Inclusion Committee of the Physical Society of Japan, including participation in an award honoring women members, support for summer programs for female students, preparation for an international conference on women in physics, and organization of a member luncheon meeting and a female-student tea event during the annual conference.

日本物理学会の現会員数は約15,000人である。女性比率は統計開始当初の2%から現在の6~7%へと増加してきたが、物理分野の国際動向と比べて低い。ダイバーシティ推進委員会は、2002年7月に発足した男女共同参画推進委員会を前身とし、女性を含むさまざまな研究者の多様性を尊重し、各人が能力を発揮できるよう活動を行っている。以下、この1年間の主な活動を報告する。

【1】米沢富美子記念賞 第7回受賞者決定

本会では女性会員の活躍を讃え奨励するため、2019年度に米沢富美子記念賞を設立した。今年度は第7回受賞者として4名を表彰した。

【2】次世代教育支援

2005年度より「女子中高生夏の学校」に実行委員および企画担当団体として参画している。今年度は8月9日に対面形式で開催された実験実習やポスター企画に、本委員会および本会物理教育委員会の担当者が参加した。また、2006年度より継続的に支援している「女子中高生のための関西科学塾」は、2021年度からは賛助会員として協賛している。今年度も7月26日開催のA日程より本委員会担当者らが登壇している。

【3】学協会連絡会活動

本シンポジウムをはじめ、運営委員会や各WG等の活動に正式加盟学協会として参加している。

【4】国際交流

2027年6月に開催されるIUPAP International Conference on Women in Physicsに関し、応用物理学会との連絡会で参加準備を進めている。

【5】年次大会での託児室の開設

本会では毎年秋開催の年次大会にて、託児室を設置している。今年度も9月14日から17日までの期間中、各日で複数の利用があった。

【6】年次大会でのミーティング開催

年次大会にて本委員会主催のランチオンミーティングを開催してきた。今年度は9月15日に「男女共同参画へ向けた国内大学の活動紹介と参加者による意見交換」を開催し、40名以上の参加者による活発な意見交換が行われた。

【7】年次大会関連企画の開催

大会会場にて、関連企画として「物理系女子学生お茶会」を試行開催した。大会非参加者の学部生も含め20名以上が参加し、盛況となった。

【8】広報活動

会員メールや物理学会誌、委員会HP等で随時情報提供・報告し、今後の強化も検討している。